

平成26年度 第1回四街道市地域包括支援センター運営等協議会会議録

開催日時	平成26年7月16日(水)午後7時00分～午後8時25分
場 所	四街道市役所福祉センター3階会議室1
出席委員	木村会長 北村委員 菊池委員 永井委員 梅田委員 千羽委員 伊佐委員
欠席委員	嶽石副会長 松田委員 鮎川委員
事務局	伊藤福祉サービス部次長 濱口高齢者支援課長 齋藤主幹 能勢副主幹 坂本副主査 篠崎主任主事 吉原主事 鶴巻主事 上野主事 大島主事 矢部地域包括支援センター長 田中社会福祉士
傍聴人	なし

会議次第

1. 開会
 - ①会長挨拶
 - ②福祉サービス部次長挨拶
2. 議事
 - ①平成25年度地域包括支援センター決算及び事業報告について
 - ②予防プランの再委託事業所の承認について
 - ③地域密着型事業者の指定について
 - ④地域密着型事業候補者の指定について
 - ⑤その他
3. 閉会

開 会 議 事

議事①) 平成25年度地域包括支援センター決算及び事業報告について

矢部センター長：(資料に基づき説明)

北村委員：公租公課費について、決算額が当初予算額の約8倍になった理由は何か。

矢部センター長：市と地域包括支援センターで委託契約をする際の印紙代6万円を当初予算に計上し忘れたのが一番大きな理由。

伊佐委員：高校生を対象に認知症サポーター養成講座を実施したのは初めてだと思うが、実際に講座を開講してみたの印象を伺いたい。

矢部センター長：高校生のボランティアグループを対象に行ったので、元々意欲の高い方々で、36人が講座を終了した。

北村委員：緊急対策部会を45回開催したとのことだが、頻度として非常に多いように

思える。この開催については絶対条件なのか。もう少し柔軟な対応はとれないのか伺う。

矢部センター長：通報を受けたその日、遅くとも翌日にはミーティングを行い情報収集や方針を決めている。通報がある以上は緊急として捉えており、会議の開催は必須であると考えている。

北村委員：会議を開催しなくても類型化して対応ができるようにできないものか。

矢部センター長：虐待のケースによってそれぞれ対応方法が違ってくるのが実情。また、職種によってそれぞれの特性を活かした意見があるので、3職種での会議がどうしても必要であると考えている。

梅田委員：緊急対策部会について、情報収集は会議を開いてから開始するのか。

矢部センター長：そのとおり。部会を開き、通報の内容を精査し、どういった情報を収集するか、またどういった事実確認が必要かなどを行うのが初動となる。

梅田委員：一回の部会では何名で話し合われるのか。

矢部センター長：3職種、センター長、担当職員の5名。

議事②) 予防プラン再委託事業所の承認について

能勢副主幹：(資料に基づき説明)

木村会長：事務局の報告のとおり、再委託事業所として承認してよろしいか。

委員全員：(異議なし)

(承認)

議事③) 地域密着型サービス事業者の指定について

齋藤主幹：(資料に基づき説明)

伊佐委員：利用者負担については定額負担になるのか。他の介護サービスとの併用は可能か。また、平成27年度から要支援の方は、訪問介護と通所介護は地域支援事業に移行するが、この事業に関してその対象外となるのか以上3点伺いたい。

齋藤主幹：料金については定額となる。他のサービスの利用については、重複する事業については利用できない。ただし、ショートステイなど重複しないものについては利用可能。定期巡回随時対応型訪問介護看護は要介護1以上の方が対象となる。

木村会長：事務局の説明のとおり、地域密着型サービス事業者として承認してよろしいか。

委員全員：(異議なし)

(承認)

議事④) 地域密着型サービス事業候補者の指定について

個人（事業所）に関する内容のため非公開

議事⑤その他

事務局：（第6期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定スケジュールについて報告。）

閉 会

午後8時25分終了